

みんなで語り、伝えよう！ 湊川物語

湊川散策マップ

# 家族で探してみよう！

湊川の自然・ロマン!!

六甲山地の自然を楽しみながら、六甲山地の不思議に触れ、素晴らしい自然を知り、安全について考えてみよう！



## 散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「湊川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。

より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



## マップの見方

- 【見学ポイント】
- 「不思議」に触れる見学ポイント
  - 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
  - 「安全」を考える見学ポイント
  - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント

- 【移手段】
- 徒歩 (○分：矢印間の移動時間の目安)

- 【その他】
- 駅
  - ⊗ 学校
  - ≡ 鉄道
  - 区役所
  - トイレ

## 散策ポイント

- スタート
- ★ 鈴蘭台駅 (神戸電鉄)
  - 1 鈴蘭台
  - 2 鈴蘭えん堤
  - 4 天王吊橋
  - 3 菊水山
  - 5 石井ダム
  - 6 菊水山えん堤
  - 7 鶴越駅
  - 8 烏原貯水池
  - 9 烏原貯水池のえん堤
  - 10 雪御所公園
- ゴール
- ★ 湊川駅 (神戸電鉄)

六甲山地の自然と不思議が発見できるよ!

【問い合わせ先】  
国土交通省 六甲砂防事務所  
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
電話：078-851-0535  
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/



# 家族で探してみよう！湊川の自然・ロマン!! (ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！  
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

## 鈴蘭台 11P

現神戸電鉄は、昭和7年(1932年)、当時の小部駅周辺を別荘地として売り出すために、駅名を鈴蘭台駅に変更しました。鈴蘭台はその後、地域の名前となっています。鈴蘭台という駅名は「健康」という花言葉を持つスズランをイメージして付けられています。



鈴蘭台方面の眺め

新湊川の上流は、夏の暑さを避ける避暑地として開発されたんだよ！

## 天王吊橋 15P

菊水山から鍋蓋山へ向かう途中に天王吊橋があります。この吊橋から、六甲山地の上昇に打ち勝って流れてきた天王谷川の様子が眺められます。また、谷沿いには、六甲山地の北側と南側をつなぐ有馬街道(現在の国道428号)が通っています。



天王吊橋 天王谷川と有馬街道

天王吊橋から、深いV字の谷となった天王谷川の流が見えるよ！

## 鳥原貯水池 31,32P

新湊川上流には、神戸市民の飲み水を確保している鳥原貯水池があります。明治時代、コレラなどの伝染病が神戸市で流行し、この予防のために水道の整備が必要となりました。鳥原貯水池はその水源として造られました。鳥原貯水池周囲の「水と森の回遊路」は散歩道として利用されています。



鳥原貯水池 水と森の回遊路

## 鳥原貯水池のえん堤 31,32P

鳥原村という1つの村が、鳥原貯水池を造るため明治37年(1904年)貯水池の底に沈みました。この村では、水車で石臼を回し線香の材料などを作っていました。水没する村のなごりを残すとともに、神戸の繁栄を願って、石臼がえん堤の壁に埋め込まれました。



護岸に埋め込まれた石臼 鳥原貯水池のえん堤

鳥原貯水池のえん堤から、護岸に埋め込まれた石臼が見えるよ！

## 鈴蘭えん堤 菊水山えん堤 72~75P

土砂災害から私たちの街を守る砂防施設の代表的なものが砂防えん堤です。昭和13年(1938年)の阪神大水害をきっかけに、多くの砂防えん堤が造られ、山から流れ出した土砂を受け止めています。新湊川には鈴蘭えん堤、菊水山えん堤などがあります。



鈴蘭えん堤 菊水山えん堤

砂防えん堤の仕組みって、知ってる？

## 石井ダム 30,54P

新湊川はこれまで何度もあふれています。昭和42年(1967年)の水害を機に、河川改修とダム建設が計画されました。石井ダムは平成16年(2004年)に完成しました。ダム湖には多くの水鳥が集まってきており、様々な種類を観察できます。



石井ダム カワセミ

六甲山地にはどんな生き物がいるのかな？

## 菊水山(KOBE六甲全山縦走大会) 3P

毎年開かれる「KOBE六甲全山縦走大会」は、自然に親しみながら、須磨から宝塚まで六甲全山の尾根を歩きます。この中で、高取山から菊水山の間は、アップダウンの厳しい区間で、菊水山は第一の難関といわれています。360度見渡せる山頂は、多くの参加者がひと休みするポイントとなっています。



菊水山山頂の様子

## 鶴越駅 40P

駅の名前となっている鶴越という地名は、平安時代末ごろの源平合戦で知られています。

この合戦の1つに「一の谷の戦い」があります。この戦いで活躍した源義経は、平家の陣が一望できるところ(鶴越)より、馬で急な坂を一気に駆け下り、平家の陣地に攻め込んだといわれています。



源義経の銅像

## 雪御所公園 37,58P

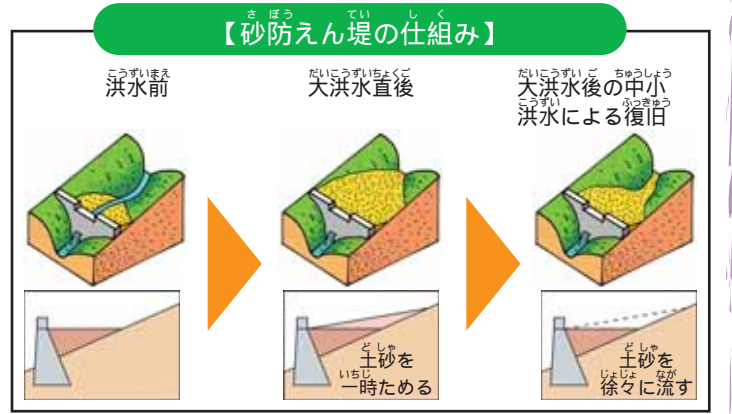
平安時代末期、神戸の地を好んだ平清盛は、「雪見御所」という別荘を現在の湊川小学校の辺りに建てたといわれ、その名は公園の名前として残っています。また、この地区は阪神大水害で大きな被害があり、公園内には、「慰霊塔」が建てられています。この塔は、北に向かって立ち、再び山が崩れたり、大きな災害が無いように見守っているといわれています。



菊水公園 阪神大水害の慰霊塔

## 砂防えん堤の仕組み

砂防えん堤は、山から流れ出した土砂を一時受け止め、下流に一気に流れないようにします。その後たまった土砂を少しずつ下流へ流します。



## 六甲の植物

六甲山地では、1年を通じて四季折々の植物が見られます。



## 鳥原貯水池などで見られる水辺の鳥

鳥原貯水池や石井ダムでは、数多くの水辺の鳥を観察することができます。

